

6 地区の取組熟度に応じた活動の促進 ～地区ごとの津波避難計画策定への展開～

◆津波防災地域づくり地区カルテの提供

今後、本市は、推進計画に基づき、津波防災地域づくり地区カルテを作成していきます。このカルテは、津波浸水範囲や浸水深などを踏まえた地区の課題や施策の進捗などに関する情報を掲載したもので、地域の方々に提供し、自助・共助の取組みに役立てていただくことを目的としています。

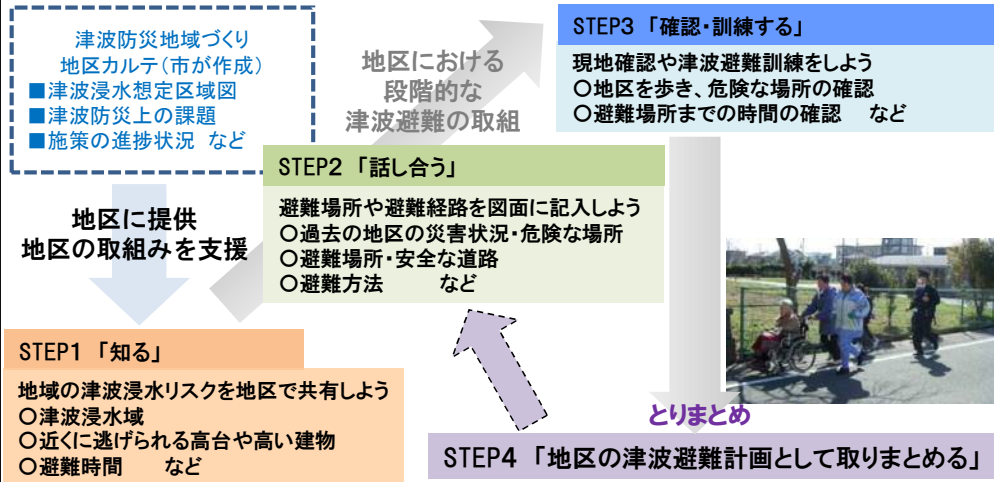
◆地区の津波避難計画の策定の促進

津波避難対策では、避難先・避難経路・避難方法などについて、地元の情報共有し、地区の中で避難手順を検討していくことが重要になります。

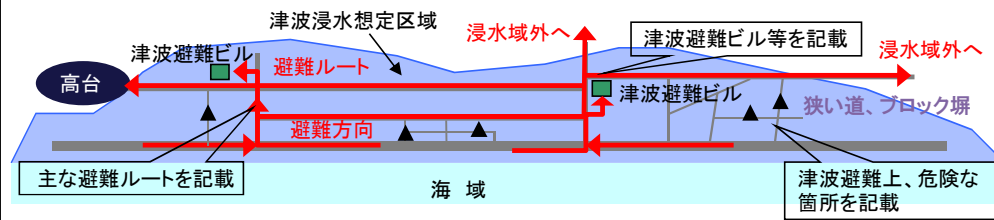
市は、地区の熟度に応じた津波避難に係る知識や理解を深める活動を自主的に取組んでいけるよう、津波防災地域づくり地区カルテの提供をはじめ、自助・共助の取組みを支援していきます。

取組みを継続することで、地区住民の理解や熟度の段階的な向上を図り、住民自らが作成する津波避難計画の策定を促していきます。

<地域の取組熟度に応じた活動推進のイメージ>



<地区ごとに作成を促す津波避難図のイメージ>



発行元：浜松市役所 危機管理課

住所：〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

電話番号：053-457-2537

※この冊子は平成26年2月1日までの検討状況をもとに作成しており今後修正される可能性があります。

浜松市津波防災地域づくり推進計画について

◆計画策定の背景(津波防災地域づくり推進計画とは)

本計画は、津波から市民の生命、財産及び産業基盤を守り、安心して暮らすことのできる魅力あるまちを目指すため、ハード・ソフト施策を組み合わせた津波防災地域づくりの総合ビジョンを示す計画です。

本計画を作成する意義は、最大クラスの津波を想定してどのように津波防災地域づくりを進めていくのか、市が地域の实情に応じてその具体的な姿を総合的に描き、住民をはじめ地域全体で共有することにあります。

◆計画の必要性

- 南海トラフ巨大地震により浜松市は震度7の大きな揺れに襲われる
- 特に南部では平野が広がり、津波による広域な浸水で犠牲者が多くなる
- 自動車産業などの事業所が多く立地しており甚大な経済的被害となる

防災・減災の実現のために

津波被害を低減するためには、津波避難に係るソフト対策と防潮堤などのハード対策を組み合わせ、市民と協働で計画的に行う推進計画が必要である

◆本市の課題

本市には、以下のような津波防災上の主な課題があります。

- 地震による被害が発生し、家屋・外構の倒壊や家具の転倒により発災初期の円滑な津波避難が確保できないおそれがある
⇒津波避難を円滑化するための大きな揺れへの備えが必要
- 津波浸水想定区域外への避難や津波避難施設への避難困難のおそれのある地域が存在する
⇒津波に対する継続的な警戒避難体制が必要
- 津波浸水のおそれのある災害時要援護者施設が存在する
⇒災害時要援護者を守る避難手段等の確保が必要
- 応急活動の拠点となる施設で津波浸水被害が発生し、災害対応に遅れが生じるおそれがある
⇒応急活動拠点の強化と代替機能の確保が必要
- 津波浸水により住宅・建築物が倒壊・流出し、早期の生活再建が困難になるおそれがある
⇒津波浸水に対応した建物の更新が必要
- 津波浸水により、事業所の営業停止や農業被害等が発生し、産業の維持・継続が困難になるおそれがある
⇒被災後の早期復旧に向けた産業の維持・継続支援策が必要
- 津波浸水に伴う災害廃棄物等が大量に発生し、早期の復旧・復興が困難になるおそれがある
⇒津波堆積物を考慮した災害廃棄物等の処理対応が必要



写真 東日本大震災における被災事例
(仙台中野小学校付近。海岸から約1km)

浜松市津波防災地域づくり推進計画の概要

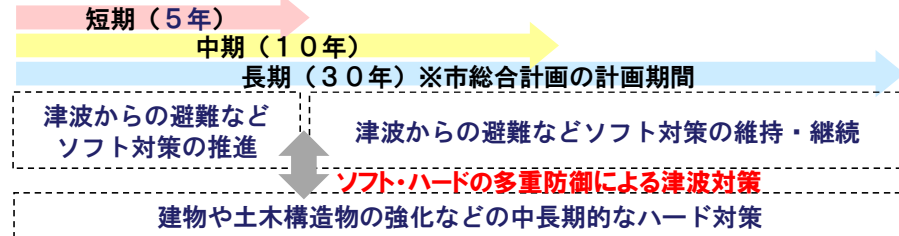
1 理念

～津波に強い魅力あるまち・はまつ～

自助・共助と公助の取組連携により、津波災害から市民の生命・財産及び産業基盤を守り、安心して暮らすことができる魅力あるまちを目指します。

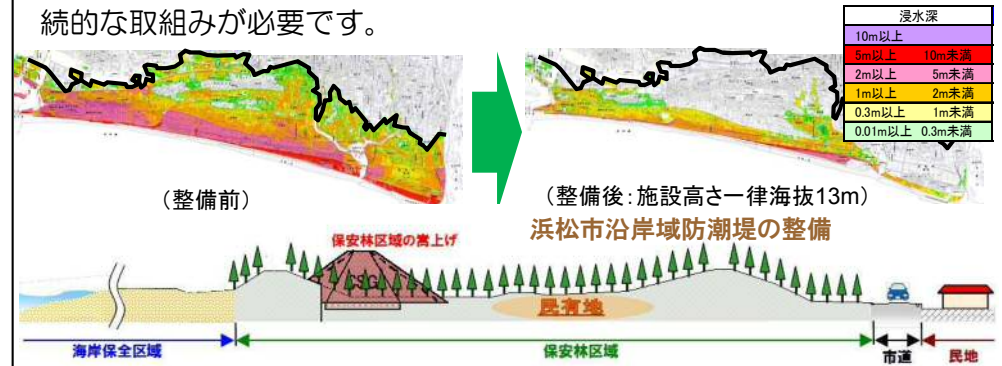
2 期間の考え方

将来にわたって取組みを継続し、適切に施策の進捗を管理し、更新・見直しをしていきます。



3 防潮堤の効果を踏まえた計画

本計画では、防潮堤が短期で建設されること、大きな減災効果が期待できることから、防潮堤整備後の津波浸水想定区域を前提とします。ただし防潮堤を整備しても浸水域は残るので、防潮堤を過信せず継続的な取組みが必要です。



<防潮堤の整備により期待する効果(想定浸水面積・浸水深の低減)>

4 目標と方針

3つの目標を定め、重要な9つの基本方針に基づき計画を推進します。

9つの基本方針

3つの目標

1 みんなで取組み、津波から命を守る

- 1-1 津波浸水を低減・回避する
- 1-2 自ら身を守り、早期の避難行動がとれるよう自助・共助の取組みを促進する
- 1-3 安全に避難する

2 津波に対して初動・応急期の行政機能を維持・継続する

- 2-1 津波浸水想定区域及び周辺の防災拠点施設の機能を確保する
- 2-2 防災拠点間をネットワーク化する重要幹線(道路)の機能を確保する
- 2-3 災害対応業務の実施体制の強化

3 津波被災からの市民生活の早期再建、産業の維持・継続と発展的復興を可能とする

- 3-1 生活再建や復旧・復興活動の拠点(オープンスペース)を確保する
- 3-2 生活基盤を早期に復旧する
- 3-3 産業(商工業・農業・水産業)を早期に復旧・再建する

6つの視点

5 施策推進のイメージ

推進する各取組みは、連携し総合力を発揮することで最大の効果を期待することができます。

